

海外安全対策情報 令和5年度第2四半期（2023年7月～9月）

1. 治安情勢・一般犯罪の傾向

シンガポール警察の発表によれば、2023年7月から9月の間に、主に、詐欺（Scam）、痴漢・盗撮等の女性や女兒が被害者となる犯罪のほか、置き引きや空き巣等の窃盗、ナイフなどの凶器を使用した暴行・傷害、さらには違法薬物の使用・販売などの犯罪等が発生しています。引き続き高い発生率が見られる詐欺に加え、路上強盗等の屋外における犯罪も件数は多くないものの、発生しています。

- 詐欺（Scam）については、引き続き様々な手口により被害が増大しており、シンガポール警察がその対応を行っています。最近、在留邦人の方にも、MOM（人材開発庁）やICA（入国管理局）など政府機関を名乗る者からのWhatsAppのビデオ電話を受け、ビザ等に関する支払いを督促され、特定の口座に送金してしまったという詐欺の被害に遭われた方も散見されます。言葉がわからなくとも翻訳アプリで日本語に翻訳してメッセージを送信して来るケースもあります。政府機関がビザ等の問題で即座に特定の口座などに送金を求めてくるなどということはありませんので、そのような内容は全て詐欺だという認識のもと、まともに取り合わないようにして下さい。また、特にCarouselなどのオンラインプラットフォームを利用した電子商取引詐欺などにも引き続き警戒するようお願いいたします。詐欺被害に遭わないようにするために、シンガポール警察のウェブサイトやScam Alertというウェブサイトに掲載されている、最近発生した詐欺の手口や対応策などの注意喚起情報をご参照下さい。また、被害に遭わないために「+65」から始まる知らない番号からの電話のみならず「+」が入っていない国内番号からの電話、また、全然身に覚えのない第三国からの電話にも注意して下さい。一般的に電話に出た際にアナウンス案内が流れるタイプは詐欺電話です。
- 人の往来の再開に伴い、痴漢や盗撮の件数が増えています。発生場所は、MRT駅や路上、スーパーマーケット等の公共の場に加えて、HDBのエレベーターなどでも発生していると報告されています。路上で学生が痴漢に遭うなどといった被害も報告されていますので外出時の服装にはご注意ください。
- 他国からの旅行客増加に伴い、空港や主要な観光地における置き引き被害が増加しています。短時間、その場を離れる場合でも貴重品は肌身離さず携行するという基本を徹底して下さい。
- 地域によっては、違法薬物乱用による治安の悪化が懸念されています。シンガポール警察による断続的な取り締まりにもかかわらず、ゲイランなどいわゆる歓楽街と言われる地域では引き続き違法薬物の売買や売春行為などが行われています。これら地域への夜間の立ち入りはできるだけ避けるようにして下さい。

2. 殺人、強盗等凶悪犯罪について

殺人や強盗については、件数は決して多くはないですが発生しています。

殺人については総体的に怨恨が動機となった顔見知り同士の発生が多いのが特徴で

す。その一方で、強盗については夜間の繁華街などで見知らぬ者による犯行が大部分を占めています。夜間帯の繁華街への外出は極力避けるようにし、また、外出する際には周囲に対する警戒を怠ることなく、複数人で行動するよう心がけてください。

3. 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が誘拐・脅迫事件に巻き込まれたとの被害は報告されていません。

4. テロ・爆弾テロ事件発生状況

テロ・爆弾事件の発生はありません。しかしながら、2023年7月に国内治安局が発表したテロの脅威評価報告書では、前回同様、「シンガポールには依然としてテロの脅威が存在する」と発表されています。

※ シンガポールは安全な国ですが、犯罪がないわけではありません。次の「基本的な防犯対策」をしっかりと守り、犯罪に巻き込まれないように気をつけて下さい。

【基本的な防犯対策】

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ○自分の身は自分で守る意識を持つ | ○夜間の一人歩きは避ける |
| ○外出時は周囲への警戒を怠らない | ○持ち物は身体から離さない |
| ○危ないと言われる場所には近づかない | ○危険を感じたら大声で助けを呼ぶ |
| ○個人情報他人には漏らさない | ○おかしいと思ったら警察に相談する |
| ○うまい話（誘い話）には乗らない | ○自宅・車等は確実に施錠する |

○シンガポール国内緊急電話番号

警察 999

消防／救急 995